

高松サンポート合同庁舎記者クラブ
高知県政記者クラブ
池田日刊新聞放送記者会

令和5年1月25日
四国地方整備局
四国山地砂防事務所
越知町

大規模土砂災害を想定した学習型の訓練を実施！

台風による豪雨時や南海トラフ地震に発生が懸念される大規模土砂災害に対し、関係機関が連携して被害の防止・軽減を図るため、学習型の土砂災害対応訓練を実施します。

今回の訓練は、土石流や河道閉塞（天然ダム形成）など、同時多発的に発生する土砂災害発生に対して、国土交通省・地方公共団体（高知県・越知町）などの関係機関が一堂に会し、災害発生時の対応及び連携を確認することを目的としています。

1. 開催日時・場所

- 令和5年2月1日（水）13：00～16：50【受付開始12：30】
- 「越知町民会館 1階大ホール」（高知県高岡郡越知町越知甲 2562番地）

2. 訓練概要、参加機関

- 別紙－1のとおり。

3. 訓練見学

- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の一環として、訓練見学は参加機関の関係者のみに限定します。
- 記者席を用意しています。

4. その他

- 訓練は新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めて実施します。取材をされる方におかれましても、マスク着用にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模土砂災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先 （○：主たる問合せ先）

国土交通省	四国地方整備局	河川部	河川計画課	TEL:087-811-8317（直通）
	課長補佐	相田	晴美（あいだ はるみ）	
国土交通省	四国地方整備局	四国山地砂防事務所	TEL:0883-72-0034（直通）	
	○副所長（技術）	青木	朋也（あおき ともや）	
	調査課長	福井	慧（ふくい けい）	
越知町役場	危機管理課	TEL:0889-26-1231		
	補佐	西森	義高（にしもり よしたか）	

1. 訓練日時

◆ 令和5年2月1日(水) 13:00～16:50
【受付開始12:30】

2. 訓練会場

◆ 越知町民会館 1階大ホール

高知県高岡郡越知町越知甲 2562番地

3. 参加機関

- ◆ 国 : 四国地方整備局(河川部、防災グループ)
四国山地砂防事務所
- ◆ 高知県: 土木部 防災砂防課
危機管理部 危機管理・防災課
中央西土木事務所越知事務所
- ◆ 越知町: 危機管理課、総務課、建設課、環境水道課、
住民課、保健福祉課、教育委員会、
高吾北消防署、消防団
- ◆ 四国山地砂防ボランティア協会

4. スケジュール

12:30～13:00	集合・受付
13:00	開会
13:00～13:10	開会挨拶
13:10～13:30	訓練の進め方の確認
13:30～16:35	学習型訓練
16:35～16:45	ふりかえり・意見交換
16:45～16:50	閉会挨拶
16:50	閉会

5. 訓練の目的

- 1) 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)ならびに災害対策基本法に基づき、**河道閉塞や地すべりの発見から住民への避難指示(勧告)発令及び解除の判断**等までの一連の流れの中で、各機関が果たすべき**責務・役割**について確認すること。
- 2) 各機関の**役割分担**を把握し、現在の**問題点**を把握することで各機関間の**連携強化**につなげるとともに、大規模土砂災害に対する**知識の醸成と意識の向上**につなげること。

6. 学習型訓練とは

進 行 者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部、もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに質問する。



「〇〇で大規模な崩壊が発生し、△△の状態になっている。」との報告が入りました。あなたの方の組織では、どのような行動をとりますか？

回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答する。

訓練参加者

質問内容に応じて、訓練参加組織内での回答者を決め、発表を行う。

質問

回答



私たちの組織では、〇〇を第一に考え、〇〇を行います。

回答者は与えられた設問に対して、その場で考え、すぐに回答する(周囲から助言をしても良い)



高知県梶原町(令和2年度) 合同対応訓練の様子

学習型訓練の特徴

1. 訓練シナリオ(訓練の進行状況)の理解	進行者がその都度状況説明を行うため、 全員が同じ状況を認識、共有、理解 できる。
2. 他機関の災害対応の理解	各機関の回答を聞くため、 他機関がどのような対応 を行うか理解できる。
3. 時間軸	進行者が状況をその都度説明し、時間軸にとらわれず、 重要な場面等を切り出して訓練 を実施できる。
4. 見学者の理解	参加者と同様に状況説明や回答を聞いているため 参加者と同程度の理解 ができる。途中から見学してもある程度理解できる。